

とになつて居る、此制度は若し借地人が土人を虐待する時は、土人は自然に他の地方に移轉し結極借地人の損害と成る爲め、實際上弊害を生じないのであつて、野蠻地開發の方法としては最も便宜な妙法であると云はれて居る。果して然るや否甚だ疑はしいものである。

當領に於て此組織の最も大なるものは、中央部のザムベシ地方を包括するモサムビケ會社領及北部地方の大部分に互るニアサ會社なるも、直轄領内にも幾多の大會社がある、其内で最も著名なのはザムベシア會社、ボロール會社、エムブレラ・アグリコラ・ドルゲラ會社及マダール會社等であつて、孰も本店をリスボンに有し、岩鹽採掘、甘蔗、椰子、棉、サイサル麻等の栽培に従事して居る。但し此制度に依る借地は、之を第三者に轉貸することは自由なるも、轉貸地の行政は原借者の權利であり、又其義務と成つて居る。

都 市 雜 觀

ベイラ港は東阿航路の中繼地

タンガニイカのダレサラーム港を後にして、南に下ること約一晝夜半、船は早くもマダガスカル海峡に入る、海上波靜にして恰も鏡の様である、勿論遠く海岸を離れて航海するのだから陸地は唯雲烟と見紛ふ許である、斯くして海を出ては又海に入り、一路平安六日目の朝ベイラ港に入る。

此は當領沿岸の中央港であり、同時に又モサムビケ會社領の首府である、但し此港がザムベシ河の流域から出る農産物の輸出港として、重要なことは云ふ迄もないことであつたが、其主たる特色はトランス、ザンブジ鐵道に依つて、ニヤサランドに通じ、更に又ローデシヤ鐵道に連接して、北ローデシヤ及白領コンゴに達し、是等の諸地方からの棉花、煙草、玉蜀黍、鐵、銅等の物資並に旅客の通路として、重要な地位を有することである、此意味から云ふときはベ

イラは葡領東阿の港と云ふよりも、其背後地たる英國領土の港として、重要性を有するものと云ふべきである。又當港の他の特色は其地位が恰も歐洲からケープタウンを経由する西廻線とスエズを経由する東廻線との中間に在ることであつて、兩航路の諸船舶は孰も此港を中繼地と定めて居り、印度及極東から來る諸船舶も亦此迄は、必ず南下して來ることに成つて居る、是れベイラ港に多くの船舶が輻輳する所以であつて、港内繁榮の光景はモムバサ、ザンジバル杯の遠く及ばない所である。

不潔な葡萄牙人ホテル

併し港灣の設備は全然駄目であつて、諸船舶は總て沖懸であり、荷物の積み下し旅客の出入は全々舢に依る外はなく、陸上の總てが貧弱である、旅



「ライベ」市附近土人の市場

館はサボイと云ふのが一番上等と云ふ事であるが、設備もサーヴィスも全然問題にならざるのみならず、食物の粗悪な事は我慢するとしても、其不潔さは實に言語同断である。尤も葡萄牙人の經營だと思へば無論苦情なしである。

市内の人口は約一萬二千人、其内土人が一萬人、歐洲人が千二百人、亞細亞人が八百人であつて、歐洲人は主として葡萄牙人なるも、彼等の多くは官吏であつて、商業機關は殆ど英國人に依り支配せられ、土人相手の商業は多く印度人に依り行はれて居る、尤も當港には多數の支那人が居り、彼等は孰も古き昔から入り込んだものであつて、數代其處に居住する者も尠くないとのことである。是れ北方の孰の地方に於ても見ざる所である、併し商業方面には極めて不活發な葡萄牙人の間にも、酒屋の營業丈は中々盛であつて、ダンスホールも少くない、仕事は怠けても酒と踊は勉強すると見へる。當港より他の重要港への距離は左の如し。

門司迄

モムバサ迄

七〇八九哩

一一二五哩

ローレンソ・マルケス迄

四七二哩

ダーバン迄

七六七哩

サウザムトン迄(ケープタウン經由)

七五五七哩

(スエズ經由)

七六一三哩

ローレンソ・マルケス港は東阿南方の重要港

ペイラを出て二日の後、船はローレンス・マルケス港に着く、此港は葡領東阿の最南に當れる
 デラゴア灣内に在つて、東阿南方の重要港なると共に、ローレンソ・マルケス州の首府であり、
 且つ當領全土の首府である。但し當地の繁榮は當領の背後に南ローデシアがあり、又トランス
 ヴァールがある爲であつて、鐵道に依つて是等の諸地方と連接せられ、南阿諸國の背面の吞吐
 港として頗る重要な地位を占めて居る。蓋しローレンソ・マルケスとトランスヴァールとの關
 係は、恰もペイラと背後地との關係に類似するも、ローレンソ・マルケスは二九五哩の南方に

在る、ナタール州のダーバン港と競争の地位に立つて居り、兩者の利害が一致しない不利益が
 ある。但し地理的に云へばローレンソ・マルケスはトランスヴァール州に對しダーバンより
 も遙に近きも、南阿聯邦の政治的關係より云へば、ダーバンは南阿聯邦の國內港であつて、同
 一聯邦の一員たるナタール州との關係上、ローレンソ・マルケスに比し有利な立場に置かれて居
 る。是れトランスヴァールとローレンソ・マルケスとの關係が甚だ複雑な所以なのである。

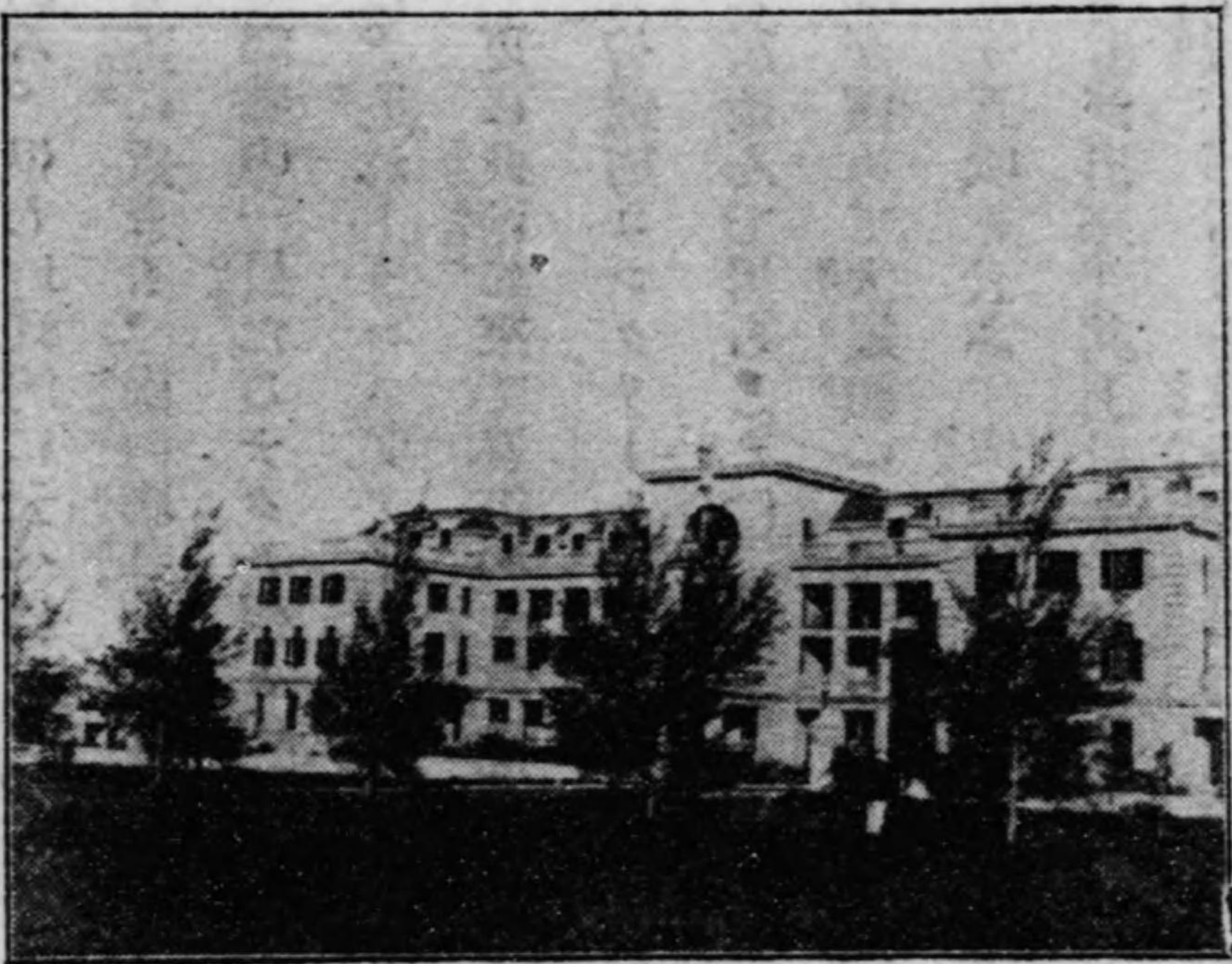
更に此港に來て吾等の注意を惹くことは、港の設備の完備せることであつて、如何なる巨船
 も皆鐵筋コンクリートの大埠頭に横付けに成り、十一棟の倉庫と二十三臺の起重機とがずらり
 と居並んで居ることは、港の設備の完備せることを證明して居る。其處にはあらゆる近代科的科
 學が極めて大規模に應用せられて居るのみならず、先づ其埠頭が長さ千六百二十四メートル巾
 七十五呎と云ふ、大袈裟な鐵筋コンクリート造りであつて、一時に十二隻の大船が横付けにす
 る事が出来。其上に十一棟の倉庫が立ち並び、六條の鐵道が引き込まれて、二十三臺の電氣起
 重機がづらりと其雄姿を誇つて居る有様は、眞に壯觀を極めて居る。更に又當港はトランスヴ
 アールからの石炭の輸出港であるから、其設備には實に力を盡して居り、一時間百五十噸の荷

役力を有し、其全能力を發揮すれば一時間六百噸の給炭力をもつて居るとさへ云はれて居る。

勿論是等は總て英國の資本に依り出來上つたものである。

享樂の巷マルケス

次に特筆すべきことは、全市が上町と下町とに分かれ、地形に變化が多いのみならず、孰も樹木が生ひ茂り、風光が極めて明媚なことである。殊に氣候が温和な爲、南阿人士の遊山場として非常に人氣を集めて居る。郊外のボラナビーチには雄大な海水浴場と瀟洒な茶亭があり、眺望の絶佳な遊客雲集の狀を呈して居る。此ホテルのサー



「ル テ ホ ・ ナ ラ ホ」
リ在に臺高の岸海市「スケルマ・ツンレーロ」
一第阿東はとこるな良好の備設壯宏の物建佳絶望眺

丘上には豪華で有名なボラナ・ホテルがあつて、遊客雲集の狀を呈して居る。此ホテルのサー

ヴィスと食事の優秀なことは蓋し世界の孰のホテルに比べると決して損色なしと思はれる。

著者は曩にベイラを見て酒場、ダンスホールの妙からぬことを指定した、然るにローレンソ、マルケスでは流石に首府だけあつて、享樂的氣分の濃厚なことは到底ベイラの比ではない、酒場、珈琲店、偕てはダンスホールの多いこと、是等も亦ローレンソ・マルケスの大特色と云ふべきか。

當港より世界重要港への距離

門司迄	七五六一哩
モムバサ迄	一六八六哩
ダーバン迄	二九五哩
サウザムプトン迄(ケープタウン經由)	七〇九〇哩
同(スエズ經由)	八〇八五哩

此港に就て注意を要することは、當地に於ける英國資本の投下の大なることであつて、主要事業は大抵英國の資本に依つて經營せられ、經濟的には殆ど英國の支配に屬するが如き觀を呈

して居る。當市の人口は二萬五千人、内歐洲人六千人、印度人二千人、支那人四百人、其他は土人である。

其他の都市

(イ)ポート・アメリカは當領に於ける最北の良港であり、又ニヤサ會社領の首府である。併し會社の經營宜しきを得ざる爲、産業振はず、貨物の出入も差したることはない。

(ロ)モサムビケ(英國人はモサムビツクと云ふ)はモサムビケ州の首府であり、又當領に於ける重なる港の一である。但し一九〇六年迄は當領の首府であつて、東阿弗利加に於て、モムバサ、ザンジバルと共に極めて古い歴史を有するも、從來ベイラ、及びローレンソ・マルケスの達發した爲、大に從來の重要性を失つて居る。

(ハ)ケリマネ(英國人はケリメーンと云ふ)はケリマネ州の首府であり、ココナツツ、落花生の輸出港として重要な地位を占めて居る。

(ニ)テーテ(英國人はテートと云ふ)はザムベシ河口から約二百哩の内地に在るテーテ州の

首府であつて、當領の奥地に於て最も重要な地位を占めて居る。

(ホ)イニヤンバネ(英國人はインハンベーンと云ふ)はイニヤンバネ州の首府であり、ベイラ港とローレンソ、マルケス港との中間の良港として重要な地位を占めて居る。

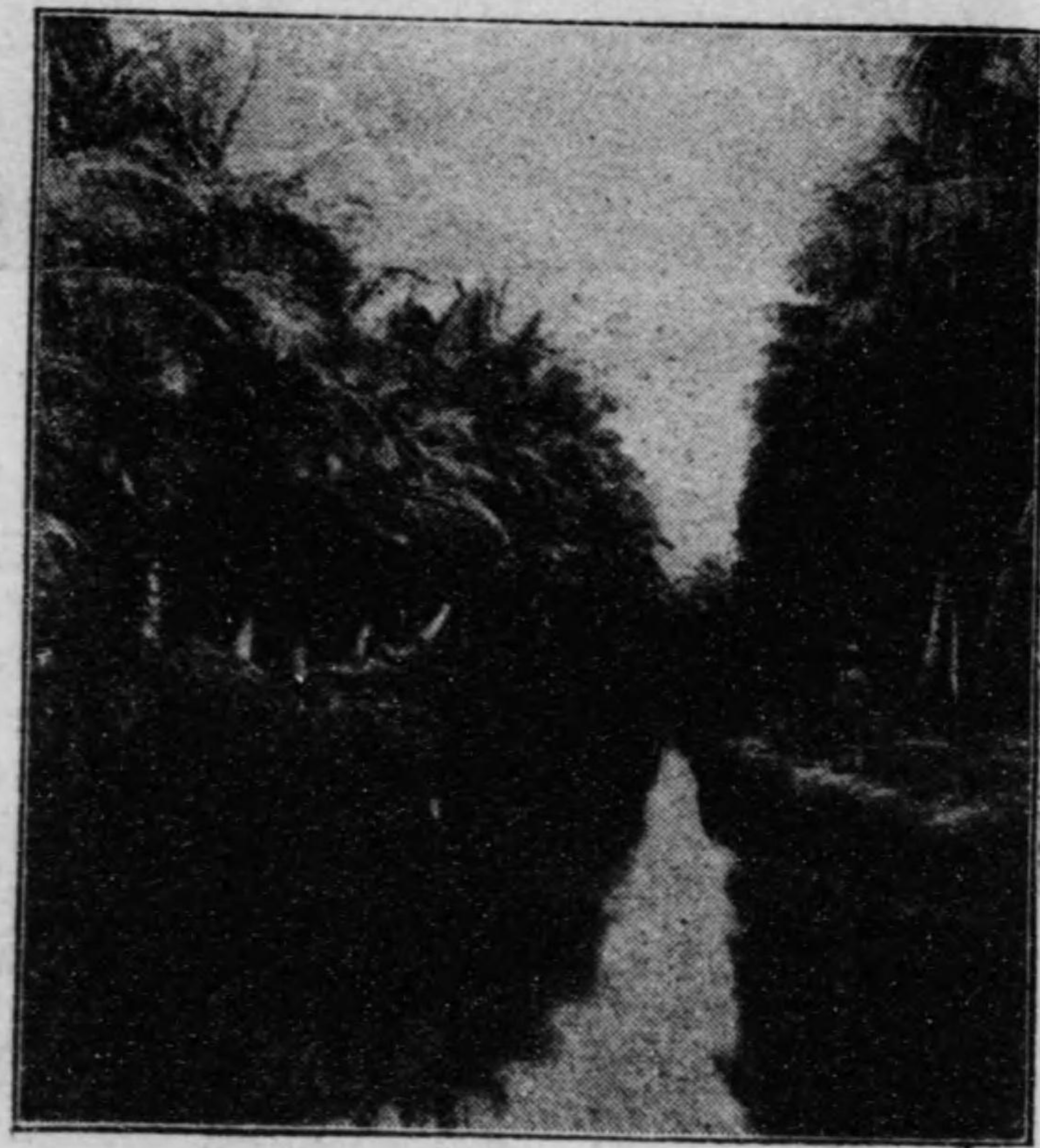
主要な産業

當領の主要な産業は農業にして、耕作者は各市街地附近に於ける、少數の歐洲人の外は土人及大規模の農業會社なるも、土人の生産する物は主として自己の食糧品であつて、輸出品としては極めて少數の品種に限られて居る。又農業會社の生産物は孰も大農式耕作に適する物に限られ、孰も輸出の目的である。即ち其重なる物はコブラ・砂糖、サイザル麻、棉、玉蜀黍、落花生等にして、其他煙草、珈琲、茶、カボツク等の生産あるも、其産額は云に足らず、今其重なるものに付其生産状況を述べ左の通りである。

(一)コブラ コブラは當領中に於ける生産品の主なるものにして、南緯二十二度以南の海岸地帯には至る處に於て、椰子樹が盛に栽培せらる、コブラは即ち其果實である。其代表的地方はケリマネ州にして、其主なる栽培會社はザムベジア、マダル、ボール、ルアボ、ルゲラ等の諸會社であるが、ケリマネ州全體に於て栽培地一九、〇〇〇英加、樹數一六、〇〇〇、〇〇〇本

に達すと云はれて居る。又イニヤリメ州には椰子樹二、〇〇〇、〇〇〇本、モサムビケ會社領にはモサムビケ工商會社の經營に屬するもの五〇〇〇英加、椰子樹六〇、〇〇〇本あり、其他テーテ州及ニヤサ會社領に於ても、極めて大規模の栽培が行はれて居る。

(二)砂糖 砂糖はコブラに次ぐ、大輸出品にして、主としてザムベジ河下流地方に於て生産せられて居る、但し其多くはモサムビケ會社領内にあるも、ケリマネ州内にも可成大規模の耕作が行はれて居る。但し砂糖園中最も大規模なものは、セナ糖園株式會社であつて、公稱拂込資本金百五十萬磅を有し、ザムベジ河下流地方に於て、數千英加の土地を擁し、モサムビケ會社領及ケリマネ州の兩地方に互り、工場四ヶ所を所有して居る。次にブンニエ植民會社も亦セナ糖園會



地耕の子椰るけ於に域流河ジベムザ

社に次ぐ大會社にして、ペイラ附近のブンニエ河畔に於て大規模の耕作に従事して居る。又此
外ローレンソ・マルケス州キシナベに於けるインコマチ糖園會社、イニヤリメ州イニヤリメに於



地耕の糖砂るけ於に域流河ジメムサ

〇〇〇、〇〇〇に達し、其他の地方に於ても廣く栽培せられ、モサムビケ會社並にニアサ會社領
に於ても可成り盛に栽培せられて居る。

孰も著名の大會社である。

(三) サイザル麻 本品も亦

主要産物の一つとして、其栽培は未だ久しからざるも其成績は

極めて好良だと云はれて居る。

但し事業の中心地はケリマネ州であつて、同州全體にて栽培面

積一九、〇〇〇英加、樹數一六、

(四) 棉花 棉の栽培は極めて近年の起業に係り、未だ幼稚の域を脱せざるも、各地に互り
極めて有望と認められて居る。

(五) 玉蜀黍及落花生 は土人の栽培する所にして、地方的消費の用に供するに過ぎざる
も、モサムビケ會社領内にては可成り大規模に栽培せられて居る。

日本との貿易

日本との貿易は當領への輸入關係に止るも、日本よりの直輸入は極めて尠く、多くは英領印度又はザンジバルより再輸出せられるものにして、對日本貿易としては數字的に明かでない。然し其主要品は棉布類にして、之に次ぐものは莫大小、陶磁器、燐寸、絹布類、細工等なること、他の東阿地方と略同様である、尙此外材木、化學製品、玩具其他雜品の輸入あるも、其金額は實に些々たるものである。

然るに當領の貿易額に就ては同政府にて發表する報告表調製の粗雑なる事と貨幣相場の變動甚だしきとに依り、確實な數字的觀念を得る事が極めて困難なるも、本邦に最も關係多き綿布類に付、當業者の意見を聞き其大體に就て觀察するに、最近に於ける直領地及會社領に於ける各種綿布の輸入年額は凡六十萬磅見當であつて、其内二割五分即ち一五〇、〇〇〇磅は未晒及晒綿布、七割五分即ち四五〇、〇〇〇磅は更紗及色染綿布である。然し此外に直轄領に於ける南

阿聯邦宛通過輸入額約四〇〇、〇〇〇磅及モサムビケ會社領に於けるローデシヤ及ニヤサランド宛通過輸入額約四五〇、〇〇〇磅にして、結局此方面に輸入せられる綿布は合計一、四五〇、〇〇〇磅位なるべく、之を北部の英領地ケニヤ、ウガンダ、タンガニカ方面への輸入合計約一〇、〇〇〇、〇〇〇磅に比すれば、其消化力の小なることは想像するに困難でない。然し右の三領地と異なる所は同領地にては、主として粗布を需要するに反し、當領にては多く捺染物の如き高級品を好愛することである、蓋し當領の土人はトランスヴァールに出稼する者多く、同地にて白人の習慣に習ひ、自然に高等綿布を需用するが爲である。従てペイラを経てニヤサランド及ローデシヤに入るものに下級品の多いのは勿論である。

當地に輸入せられる未晒及晒綿布の約六割乃至七割は英領地より輸出せられ、其多くは粗布及チャダールなるが、粗布は殆ど總て日本品にして、其多くは一旦日本より印度に、又或物はザンジバルに輸入せられ、同地より當領に再輸出せらるゝことに成つて居る。而して其割合はペイラ港に七〇〇俵、ローレンソマルケス港に一〇〇〇俵、其他に三〇〇俵、合計二〇〇〇俵位だと云はれて居る。日本より當地に直航路あるに拘らず右の如く、日本品の直輸入尠きは當

領の輸入商が孰も薄資の印度人であつて、其信用状態が不明なる爲、本邦商人が之と直取引を欲せざるのみならず、同地の通貨及爲替相場の變動を恐れ、取引を躊躇する者の多い爲である。若し本邦商人が此地方の事情を研究し直輸入を計るに於ては、其取引の増加することは疑なしと思はれる。

尙日本製莫大小、陶器、燐寸、絹布及綿製品も亦相當輸入せられて居る。若し我當業者にして少しく努力せば之を増加せしむることは決して困難にあらずと想像するも、從來我商人に依つて顧みれないのは、甚だ遺憾の次第である、尙詳しい数字的情報は過日外務省より公表せる、著者の東阿弗利加事情と題する。報告書に記載しあれば此處には略することとする。

貨 幣 並 ニ 課 税

(一) 金 融

貨幣單位はエスキュードと云ひ、其百分の一をセントボ、千倍をコントと云ふ、但し金貨本位なるも下段説明の通り金貨の流通なく、直轄州及ニアサ會社領に於ては左記の貨幣を流通す

(イ)直轄州及ニアサ會社領

一、セントボス 一〇、二〇、五〇、セントボス紙幣

二、エスキュード 一、二五、一〇、二〇、五〇、一〇〇、一〇〇〇エスキュード紙幣、

普通リブラ磅

三、リブラ 一、五、一〇、リブラ紙幣(と稱せらる)公債英磅と同價

四、英 貨 通用を禁ぜらるゝも實際には流通す

(ロ)モサンビツク會社領

一、セントボス 一〇、二〇、五〇、セントボス紙幣

二、エスキュード 一、〇〇、五、一〇、二〇、五〇、一〇〇、一〇〇〇セントボス紙幣

三、リブラ 一、五、一〇、二〇、リブラ紙幣(普通リブラ磅と稱せらる公稱英磅と同價)

エスキュードの公稱換算率は四、五エスキュードを以て英貨一磅となすも、一九二〇年爲替相場大下落並に本國政府に於て、金輸出禁止の結果紙幣の兌換を停止し今日に及びたるが、一九二六年本國政府に於て爲替相場調節の爲、一億エスキュードを限り爲替資金保證の聲明を爲し、三ヶ月を一期として爲替相場を公定し、爲替の投機を禁じ、努めて紙幣を回収する等、鋭意其安定を計りたる爲、漸次相場の回復を來たし、一九二七年十一月には左の通りと成り、稍安靜の兆を示して居る。

英貨一磅に對する相場

公稱四、五エスキュード

一九二七年十一月ローレンツマルクス公定爲替(賣り) 一一二・八〇エスキュード

一九二七年十一月ベイラ銀行にてリブラ相場一割引

惟ふに今後地方政府の節約方針、銀行の消極態度に産業貿易の進歩と相俟ち、漸次財界の回復を見るに至るべきか

(二)度量衡 公定度量衡はメートル法なるが、貿易及運輸は英國優勢なる爲、英國法をも併用す

(三)關稅制度 直轄領と、會社領とは、各獨立の關稅制度を有す

直轄五州の現行關稅率は、一九二二年に制定せられたるものであつて、其大綱は左の通り

(イ)輸入税 輸入税は從價一分より五割二分に至り、之を基礎として、更に特定品に對し從量税を課し、或特定品は無税とす、但し或品種に就ては自國品と外國品とを區別し、又輸入の州に從つて、稅率を異にして居る。

綿布輸入税は左の通りである。

未晒及晒綿布 自國品一割 外國品一キロに付四〇エスキュード

更紗及染綿布 〃 〃 〃 〃

(ロ)輸出税 輸出税は従價一割乃至二割とし、之を補ふに従量税を以てし、或特定品は無税とす、主要品の輸出税は左の通り

砂糖一噸に付價格一〇磅迄四分、一〇―二磅は五分、二〇―二五磅は七分、二五―三〇磅は八分、三〇以上は一割

綿 花(線棉及實棉)

從價二分

玉蜀黍

同 三分

(ハ)通過税 トランスヴァール、東阿間は通過貨物は暫定條約に依り、相互に無税とす 課税金は總て其納入の時の相場に依り金貨にて徴收す

(四) 移民入國規則

外國人の入國者は上陸の際左の所持金を要す

ローレンソ・マルケス 三〇磅

ペイラ

三〇磅、但しローデシヤ行旅客は五〇磅、甲板客は一〇磅

尙到着後五日以上滞在者は、居住地警察の居住許可書を受くるを要し、又ローレンソ・マルケスにては出入の旅客より港税として左の通り徴收することに成つて居る

船客種類	領内旅客	南阿旅客	他國旅客
一等船客	四志	五志	八志
二等船客	三志	三志	六志
三等船客	二志半	四志	四志
甲板船客	一志	五志	三志

一奇 東談 阿弗利加土産終

昭和五年八月三日
印刷發行

奇談 阿弗利加士產

定價一圓九十錢

著者 大山卯次郎

發行者 野澤廣
東京市神田區三崎町三丁目一番地

印刷者 廣瀨大三郎
東京市麹町區飯田町五丁目三十五番地

發行所 博文堂出版部
東京市神田區三崎町三丁目一番地
電話九段一五四五 振替東京五六〇二六

發賣所

東京市神田區三崎町二ノ一
赤爐閣書房
電話九段一五四五 振替東京六二三八六



